

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 12 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年に2回の消防訓練だけでは認知症の利用者が実際の災害に対応できるか不安が残る。	月に1回は簡単な災害訓練を行い職員に災害時の誘導方法等を意識付けする。	定期的にリーダーが職員・利用者に事前連絡せず、机の下にもぐる、ベランダに出る、玄関外で安全に待つなどの訓練を行う。	6ヶ月
2	64	当施設に家族以外が訪ねてくることが殆どない。そのため利用者が地域の一員として暮らしているという認識が乏しい	馴染みの人々や地域の人々が気軽に訪れていただけるグループホームにしたい。	積極的に地域のイベントに利用者・職員が一緒に参加する。 当施設に気軽に訪れることができる行事を定期的に催す。	6ヶ月
3	56	職員は、利用者と思いの疎通が困難な場合、思いや願い、暮らし方の意向を掴むことができない場合がある。また、掴んでいても時間がなかったり、職員の人数の関係で、実行に移すことが困難な場合がある。	利用者ゆっくり時間を取り、話を聞きながら、思いや願いを聞き、可能な限り実行に移す。	職員は、利用者の顔の表情、話し方から希望、意向を読み取れるように相互の絆をより深める。	6ヶ月
4					6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。